

○西蔵王と瀧山



山形市には、南西

から北西にかけて、

月山、葉山、南東か

ら北東にかけては、

蔵王・瀧山・山寺と歴史を語る

私たちの先祖は、これらの山々

とどのようにかかわってきたの

山々が存在します。

でしょうか?

介息居ヶ丘の「石造明神鳥居」



☆瀧山神社・瀧山寺









自然への畏敬と山岳信仰

平安時代

山形と山岳信仰

山岳信仰は、自然環境に対して抱く畏 敬の念、雄大さや厳しい自然環境に圧倒 され恐れ敬う感情などから発展した宗教

形態に位置づけられています。山形市は、蔵王や月山、湯殿山、羽黒 山の出羽三山信仰の降盛に伴う参拝者の拠点として賑わっていまし た。また、自然への畏敬の念、万物の生命を大切にする心などその精 神文化は、県民性にも表れていると言われています。

龍山の開山と信仰

また、平安時代には、天台宗の開祖で ある最澄の弟子の慈覚大師円仁が、山寺 に立石寺を創建(860年)したことはよ

く知られていることですが、同じ頃、円仁は西蔵王の一体である瀧山 を開山したとも伝えられています。

瀧山信仰は、鎌倉時代に封山されますが、その後も市民から信仰・ 憩いの場として親しまれています。瀧山から流れる河水によって、岩波・ 桜田・小立・青田・元木・飯田・成沢ほか多くの村々は稲作にいそしみ、 水分(みくまり)の山神に対する信仰を温めてきました。

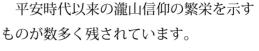


信仰の山「瀧山」

を訪ねる

△湯殿山道中略図

○西蔵王から望む月山 命白鷹山遠景



山形市の鳥居ヶ丘に日本最古とされる

石鳥居**「石造明神鳥居」**があります。瀧山参拝への入口であったとされ、 答木・鳥木は一石からなり、古調あふれる堂々たる風格は、瀧山信仰 の全盛期を物語っています。平安末期から鎌倉時代にかけての貴重な もので、1952年国指定の重要文化財に指定されました。

中桜田地区には、中世より続いた瀧山信仰の寺院が散在しています。 西行法師が訪れたと伝えられる**「瀧山寺」**、瀧山大権現の祀られている 「瀧山神社」が古木の中にあります。「瀧山寺」は、1258年に瀧山閉 山で追放された僧侶たちが、中桜田の桜神前に小堂を建て、瀧山大権 現を祀ったのが始まりとされており、1790年に現在地に再建されまし た。瀧山に関する古文書がたくさん保存されています。

龍山川に沿って登ると、西蔵王高原ラインにさしかかかる所で、信 者たちが一息ついて喉を潤したであろう「阿弥陀清水」があります。 やがて、「瀧山大権現塔」を横に見ながら西蔵王放牧場をめざして歩い ていくと、「三百坊鳥居」があります。赤石のこの鳥居は信者たちが瀧 山信仰の再興を願い1866年に建立したものです。

山頂をめざしてすぐに出会うのが「姥神」です。「うばさま」とも呼 ばれています。昔、瀧山は天台宗の聖地であり多くの僧が修行してい ましたが、女人は修行の妨げになるとの理由から、ここから先への入 山が禁じられていました。そこで、女人は、この姥神に祈願の仲介を お願いして下山したと言われています。

姥神を過ぎるとすぐに**「慈覚大師御堂」**があります。お堂には「大 師の石像」が祀られています。山頂に着くと、薬師如来が安置されて いる「瀧山神社奥の院」があります。平成23年6月に新しいお堂に改 築されたものです。



₩中



₩蔵王連峰

立石寺で有名な山寺に、山形市が 数寄屋建築の山寺芭蕉記念館とその 隣接地に民間の方が山寺風雅の国と いう施設を建設した時に、私はその 建築を担当させていただきました。 敷地に立っていた樹木のうち、どう しても切らなければならないので、 止むを得ず切った樹木が数本ありま した。その切った樹木の霊を供養し たいと考え、施主の方にお願いし て、草木塔を建立させていただきま した。

山形県には、草木の恵みへの感謝 と神秘への畏敬の念から草木塔を建 立する風土がありました。この草木 塔は、私たち山形県民の精神的モ ニュメントではないかと、私は思っ ております。現代は科学技術が急速 に発展しておりますが、その反面、 自然破壊が地球規模で進み、自然を 保全し、自然と人間との関わり方が 非常に難しい時代であるだけに、草 木塔の思想は、人間と自然が共生す るための一つの示唆を与えてくれる



20